

## 令和5年度 山形県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会 議事録要旨

日時 令和5年7月10日(月) 午後3時～4時30分

場所 山形県庁 701 会議室

当協議会設置要綱の規定に基づき、会長が議長となり議事を進行。

### 報 告

(1) ジェネリック医薬品の使用状況について

(2) 令和4年度ジェネリック医薬品安心使用促進事業結果について

(3) ジェネリック医薬品に係る現状分析と対策について

事務局	(報告(1)、(2)について、資料により説明)
丹野委員 (県保険者協議会)	(報告(3)について、資料により説明)
阿部委員 (県立中央病院)	・ジェネリック医薬品の使用割合が低いと、後発医薬品使用体制加算に影響するため、積極的に推進しているが、やはり限度があると感じている。
間中委員 (県医師会)	・病院はジェネリック医薬品が流通したら積極的に切り替えている。薬局でも患者にジェネリック医薬品のメリットを説明し、切り替えを推進している。
齋藤委員 (県薬剤師会)	・以前は、先発品を希望する患者が多かったが、最近では、ジェネリック医薬品に対する理解も広まり、患者の方からジェネリック医薬品はありませんかと聞かれる機会が増えてきている。
大石委員 (薬事工業協会)	・今般の医薬品供給不足は、まだ2年近く続くと考えているが、安心安全な医薬品を提供できるよう日々取り組んでいるので御理解いただきたい。
松浦委員 (卸業協会)	・医薬品の種類によっては、薬価が安すぎるという問題がある。物価高騰や原料の調達が難しい中で、医薬品が飴玉より安いというのはどうか。そのような医薬品は薬価を上げて良いのではないか。

### 協 議

(1) 令和5年度ジェネリック医薬品安心使用促進事業計画(案)について

事務局	(事業計画案について、資料により説明) ① 山形県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会の開催 ② ジェネリック医薬品製造工場見学会の実施 ③ 県内基幹病院におけるジェネリック医薬品採用リストの更新 ④ 県内医療機関(病院・診療所・薬局)におけるジェネリック医薬品使用状況調査 ⑤ ジェネリック医薬品に関する意識調査
③ 県内基幹病院におけるジェネリック医薬品採用リストの更新	

山口委員 (病院薬剤師会)	・医薬品採用リストについては、どのような形で使われているか疑問もある。門前薬局の場合は、病院の採用状況を確認していると思うが、大学病院の場合は、様々な医療機関から紹介された患者が多く、門前以外の各薬局での医薬品採用リストの活用方法について知りたいところではある。
------------------	---

⑤ ジェネリック医薬品に関する意識調査	
齋藤委員 (県薬剤師会)	・小児科の保護者を対象に行うジェネリック医薬品に関する意識調査は、どのような形で、いつ頃を実施する予定かお伺いしたい。
事務局	・各保健所及び薬剤師会から協力をいただき、薬局を選定したいと考えている。 ・前は2月頃に実施していたが、今年度はもっと早い時期に実施したいと考えている。
大石委員 (薬事工業協会)	・小児のジェネリック医薬品の使用割合は低い傾向にあるが、後発品の方が様々な味の選択ができ、飲みやすさという点は先発品よりも優れている。
齋藤委員 (県薬剤師会)	・ジェネリック医薬品の飲みやすさのPRを積極的に行っていたら良いのではないかと。 ・ジェネリック医薬品の優れたところを理解していただき、使いたくなるようなアンケート内容にしていただきたい。
議長	【計画(案)について委員了承を確認】

以上